

# スティービー 虫のおはなごです

つぎの 文を よんで かん字の 正しい よみかたを おぼえましょう

一 むかしは たくさんのお虫がいました。いなかにも 町にも たくさんのお虫がいました。一年生の子どもでも たくさんのお虫の名まえを しっていました。草の上には バッタが とまっていたし、犬のはなぎぎには ハエが とまっていた。石の下には ゲジゲジや ダンゴムシが たくさんいました。虫といっても 足が6本じゃないのは 本とうは 虫とは いわないと 先生が いていたけどね。

二 なつの よるには 火をつけると ガが とんできました。月の出ている あきの よるに 耳をすませば スズムシの なぎごえが きこえてきました。

三 天気の良い日には みんなで 虫とりに 出かけました。男の子は 虫が大すきでした。女の子だって 花にとまっている チョウを そつと ゆびで つまんで つかまえることが できました。チョウのはねの もようが 右も左も ほとんど おなじなのは ふしぎな きが しました。はねに 円い もようがあるのは とりに たべられないためだそうです。 田んぼに 水が はっている ときには ゲンゴロウを つかまえることが できました。人の すくない 村のほうに いけば いまは 本でしか見られない めずらしい チョウだって つかまえられました。

四 カナブンに 糸をつけて とばせば 王さまの 気分になれました。土をほると すぐに ミミズが出てきて 手でさわっても へいきでした。白いいろの まるい ようちゅうは おとなになると 金いろや 青いろに ひかる 玉虫になります。

五 あきの 学校の かえりみち 夕やけ空には 赤トンボが まっていました。立ちどまって かぞえてみようとしても 百ぴき いや 千ぴき ぐらい とんでいて かぞえきれませんでした。トンボは 目をまわして つかまえました。川のそばで 口を あけて はしっていると 虫が入ってくる くらい たくさんのお虫が とんでいました。

六 竹やぶに ちかい いえは カが おおくて たいへんでした。とくに 雨があがった あとは カが たくさん 出てきました。カが 耳の そばで ぷーんと 音をたてて ねることが できませんでした。よるは ほかにも いえの中に たくさんのお虫が 入ってきました。

七 休みの日に あき 早くおきて 山へいって 森や林の 中に入れば カブトムシや クワガタが 木にとまっていた つかまえることも できました。小さいクワガタでも 力がつよくて かまれると はなしてくれませんでした。

八 いまは 人や車が ふえてしまったからでしょうか 虫はすくなく なりました。

ステップ1 チェック表

学	一	先	人	耳	五	学	一
気	右	早	水	七	口	気	右
九	雨	草	正	車	校	九	雨
休	円	足	生	手	左	休	円
玉	王	村	青	十	三	玉	王
金	音	大	夕	出	山	金	音
空	下	男	石	女	子	空	下
月	火	竹	赤	小	四	月	火
犬	花	中	千	上	糸	犬	花
見	貝	虫	川	森	字	見	貝

(80字)